

- 調査研究(第2報) 家族の育児参加に対する母の評価と育児不安. 日本公衆衛生雑誌, 51(10):573. 2004
- 23) 平岩幹男: 健診で着目する疾患・発達課題の知識. 保健師ジャーナル, 60(5):426-429. 2004
- 24) 鳥取県福祉保健部健康対策課: 鳥取県乳幼児健康診査マニュアル: 36. 2004
- 25) 松山由紀: 問診で「子どもの成長・発達」を確認する際のポイント. 保健師ジャーナル, 60(5):430-433. 2004
- 26) 金子浩美, 他: 3才児をもつ母親の疲労と衝動的感情—夫の育児・家事行動との関連. 第52回日本小児保健学会講演集:184-185. 2005
- 27) 南前恵子, 他: 乳幼児をもつ父親の育児・家事の実施状況. 第52回日本小児保健学会講演集:194-195. 2005
- 28) 斉藤恵子: 父親の育児参加行動が母親の育児意識に及ぼす影響. 日本公衆衛生雑誌, 50(10):636. 2003
- 29) 昇玉尚子, 他: 父親の育児協力と母親の満足感との関連—4ヶ月時健診の調査から—その2—. 日本公衆衛生雑誌, 50(10):637. 2003
- 30) 森田芳江, 他: 父親の育児・家事参加に関連する要因の検討. 日本公衆衛生雑誌, 51(10):571. 2004
- 31) 中浦孝子, 他: 父親の親となってからの認識の変化に影響を与える要因. 日本公衆衛生雑誌, 51(10):571. 2004
- 32) 和田佐和子, 他: 4ヶ月児健康診査時における授乳状況の実態(第2報)—母親の育児観への影響の分析—. 日本公衆衛生雑誌, 52(8):655. 2005
- 33) 伊藤るみ, 他: 幼児の生活習慣と栄養・食品摂取の関連性について. 日本公衆衛生雑誌, 50(10):611. 2003
- 34) 青百合恵, 他: 子どもの生活リズムと生活習慣に関する調査研究第1報—幼児の生活と保護者の養育行動—. 日本公衆衛生雑誌, 52(8):654. 2005
- 35) 大脇淳子: 幼児の就寝時刻を遅らせる要因—就寝前の過ごし方の実態から—. 日本公衆衛生雑誌, 51(10):577. 2004
- 36) 伊藤るみ, 他: 幼児の生活習慣・朝食喫食習慣・食品摂取状況について. 日本公衆衛生雑誌, 51(10):576. 2004
- 37) 中山美由紀, 他: 子どもの就寝及び起床時刻との発達との関連—第2報. 第52回日本小児保健学会講演集:324-325. 2005
- 38) 境橋美津子, 他: 幼児の朝食と母親の意識の実態調査. 第52回日本小児保健学会講演集:330-331. 2005
- 39) 佐々木昭彦: 歯科的異常の診かた. 小児科診療, 67(6):988-993. 2004
- 40) 浅里仁, 他: おしゃぶりについての実態調査—第8報—生活習慣, 家庭環境との関連について—. 第52回日本小児保健学会講演集:492-493. 2005
- 41) 鈴木ゆみ, 他: 乳幼児の誤飲防止プログラムに関する研究—「誤飲チェッカー」を用いた介入研究—. 日本公衆衛生雑誌, 51(10):621. 2004
- 42) 内山有子, 他: 母子保健事業で用いる事故防止マニュアルと指導教材の作成. 日本公衆衛生雑誌, 52(8):664. 2005
- 43) 石井博子, 他: 子どもの事故防止の可能性. 日本公衆衛生雑誌, 52(8):665. 2005
- 44) 山中龍宏: 健診と事故予防の指導. 小児科診療, 67(6):994-998. 2004
- 45) 齊藤幸子, 他: 母子保健と保育所の連携に関するアンケート—第2報—保護者の意識調査(1) 対象別特徴の把握について. 第52回日本小児保健学会講演集:474-475. 2005
- 46) 添い寝は危険? 赤ちゃんの窒息死リスクが40倍に——米研究. MedWave2003. 10. 8 <http://medwave.nikkeibp.co.jp/regist/>

- medi_auth.jsp?id=0/tpic/270502
- 47) 睡眠時におしゃぶり使用でSIDSは90%以上防げる—米研究. MedWave2005. 12. 20
http://medwave.nikkeibp.co.jp/regist/medi_auth.jsp?id=0/mdps/418344
 - 48) 福岡市立こども病院編: 乳幼児突然死症例・診断の手引き. 2001. 9. 25
<http://www.fukuoka-child.jp/child030data/ikyoku/SIDS.html>
 - 49) 嶋田耕吉, 他: 育児負担感軽減のための支援方策に関する研究(V)—乳幼児との接触経験の有効性—. 日本公衆衛生雑誌, 50(10): 647. 2003
 - 50) 中村敬: 地域における子育て支援～育児ストレスとその生成要因について～. 大正大学研究紀要92号: 316-336. 2007
 - 51) 前川喜平: おしゃぶりについての考え方. 小児保健研究, 64(2): 345-346. 2005
 - 52) 武見ゆかり, 他: 小学生保護者の家族との共食頻度と食習慣との関連1報 食態度・食行動との関連. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集: 312. 2006
 - 53) 大久保公美, 他: 小学生保護者の家族との共食頻度と食習慣との関連2報 食品群・栄養素摂取との関連. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集: 312. 2006
 - 54) 高増雅子, 他: 小学生の家族との共食行動と食物選択力形成との関連—食品購買行動を中心に—. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集: 313. 2006
 - 55) 針谷順子, 他: 小学生の家族との共食行動と食物選択力形成との関連—小学生と保護者のペアによる検討—. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集: 313. 2006
 - 56) 村松幸, 他: 今, 話題のサプリメントは体に良いのか—システマティック・レビューからの分析. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集: 157. 2006
 - 57) 竹中麻里, 他: 栄養教育による食行動の変化と咀嚼能力. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集: 157. 2006
 - 58) 久野一恵: 幼児の健康と食生活に関するアンケート調査結果報告書. 東与賀町歯科・食生活改善計画「スマイルハッピープログラム」: 2006
 - 59) 久野一恵, 他: 佐賀市内私立幼稚園児の食生活調査. 永原学園・西九州大学・佐賀短期大学紀要第31号. 2001
 - 60) 久野一恵, 他: 食育の観点からみた生活習慣と親の知識・意識の関連. 日本公衆衛生雑誌, 53(10) (特別付録): 700. 2006
 - 61) 真名子香織, 他: 幼児期における遊びを中心とした生活習慣の相互関連に関する研究. 日本公衆衛生雑誌, 53(10) (特別付録): 661. 2006
 - 62) 菅原ますみ, 他: NHK放送文化研究所ホームページ.
http://www.nhk.or.jp/bunken/new_03100101.html
 - 63) 巽あさみ, 他: 医学と生物学, 148(2): 8-13. 2004
 - 64) 加納重紀, 他: 日本小児科学会雑誌, 108(11): 1391-1397. 2004
 - 65) 中山美由紀, 他: 1歳6ヶ月児をもつ母親に対する父親の育児支援行動. 母性衛生, 44(4): 512-520. 2003
 - 66) 濱耕子, 他. 母親の子どもに対する事故防止意識と生後1歳6ヶ月までの事故発生への影響—乳児期にチェックリストを配布した母親と未配布者における比較—. 小児保健研究, 65(1): 11-17. 2006
 - 67) 「乳幼児死亡の防止に関する研究班」報告書. 1998
 - 68) 自転車に同乗する幼児の事故実態等に関する調査報告書:(財)全日本交通安全協会. 2005
 - 69) 国民生活基礎調査(健康票) SF36
 - 70) 厚生労働省: 食を通じた子どもの健全育成のあり方(—いわゆる「食育」の視点から—)に関する検討会報告書, 2004. 2

表 1 親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診問診項目 *新たに集積した事項 50)～

No	親子の社会的健康度の支援に資するカテゴリ-10	親子の社会的健康度を育むための支援に視する乳幼児健診問診項目46	学術的事項・エビデンスに関わる事項							健やか親子21指標
			2)	3)	4)					
1	親の(地域)社会との関わり	地域の子育てサークル等に参加していますか	2)	3)	4)					
2	親の(地域)社会との関わり	地域のお祭りや行事に参加していますか	5)							
3	親の(地域)社会との関わり	公園などに子どもを連れて遊びに行くことがよくありますか	6)							
4	親の(地域)社会との関わり	子育てが楽しいと思える時がよくありますか	7)	8)	9)					
5	親の身体・精神的健康度	自分はこの子を、扱いにくい子だと感じていますか	10)	23)	50)					
6	親の身体・精神的健康度	自分は子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか	11)	50)	63)					4-4子どもを虐待していると思う親の割合
7	親の身体・精神的健康度	子どもが泣きやまず、いらいらすることがよくありますか	12)	13)	26)	6)	50)			
8	親の身体・精神的健康度	あなたは現在、健康上の問題で子育てに何か影響はありますか	14)	6)	11)	69)				
9	親の身体・精神的健康度	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか	15)	16)						4-5ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合
10	親の身体・精神的健康度	自分ひとりで子育てしているという思いがありますか	50)							
11	遊び	よくテレビ・ビデオを見せていますか	17)	1)	61)	62)	64)			
12	遊び	絵本の読み聞かせをよくしていますか	18)	19)						
13	遊び	お子さんとよく遊んでいますか	6)							
14	遊び	お父さんはお子さんとよく遊んでいますか	20)	21)	22)	26)	65)			4-8子どもと一緒に遊ぶ父親の割合
15	遊び	外遊びをよくしますか	6)	61)						
16	遊び	友だちとよく遊びますか	23)							
17	遊び	ごっこ遊びをしていますか	25)							
18	母乳・接触	お父さんはおむつを替えますか	26)	27)	28)	29)	30)	31)	65)	
19	母乳・接触	添い寝をして寝ていますか	46)							
20	母乳・接触	生後1ヶ月のころ、母乳育児をしていましたか	32)							4-9出産後1ヶ月時の母乳育児の割合
21	食	食事の時間はだいたい決まっていますか	33)	70)						
22	食	家族と一緒に食事をするのがよくありますか(1日最低1食ふたり以上で)	52)	53)	70)	58)	59)	60)	61)	
23	食	おやつは時間をきめて与えていますか	33)							
24	食	よくかんで食べますか	58)	60)						
25	食	子どもの食事をつくるのは楽しいですか	38)	60)	58)					
26	食	おこさんは、一緒に食事づくりや後片付けをしていますか	36)	70)	58)	60)				
27	生活習慣	おむつはとれましたか								
28	生活習慣	子どもを連れて夜外出・外食などをすることがよくありますか								
29	生活習慣	子どもは早寝早起きをしていますか	35)	36)	37)	59)	58)	61)	60)	
30	生活習慣	おしゃぶりを使っていますか	39)	40)	47)	51)				
31	生活習慣	歯磨きや手洗いをしていますか								
32	生活習慣	衣服の着脱をひとりでできますか								
33	生活習慣	保護者が歯の仕上げみがきをしていますか	58)	60)						
34	地域・周囲からの関わり(親子へ)	日常の子育ての相談相手は誰ですか	45)	49)	50)					4-6育児について相談相手のいる母親の割合
35	地域・周囲からの関わり(親子へ)	あなたの住んでいる地域では子どもに道で声をかけてくれる人がいますか								
36	地域・周囲からの関わり(親子へ)	他の子どもに道でよく声をかけますか								
37	喫煙	あなたは現在喫煙していますか	48)							3-7育児期間中の両親の自宅での喫煙率
38	喫煙	あなた以外の家族に、現在、喫煙している人がいますか	48)							3-7育児期間中の両親の自宅での喫煙率
39	医療	かかりつけの医師はいますか								3-9かかりつけ医の小児科医をもつ割合
40	医療	休日夜間にお子さんが急病のとき、診察してもらえる医療機関を知っていますか								3-10休日・夜間の小児救急医療機関を知っている割合
41	医療	子どもを対象にした心肺蘇生法(心臓マッサージなどの救急措置)の講習を受けたことがありますか								3-13心肺蘇生法を知っている親の割合
42	事故	車に乗るときはチャイルドシートを必ず着用していますか	41)	42)	43)	44)				
43	事故	あなたは、車に乗るときはシートベルトを必ず着用していますか	41)	42)	43)	44)				
44	事故	薬・タバコ・あめ・ピアス・硬貨などの小物は1メートル以上の高さのところに置いていますか	66)	44)						
45	事故	お風呂に残し湯をしていますか	67)	44)						
46	事故	自転車に乗せる時には、子どもにヘルメットを着用させていますか	68)	44)						

親子の社会的健康度を育むための支援に資する 乳幼児健診項目の開発に関する研究

甲斐 友佳	千葉県印西市中央保健センター
渡辺 多恵子	常総市保健推進課（旧石下町保健課）
佐藤 千織	千葉県柏健康福祉センター
鈴木 茜	千葉県印西市中央保健センター
田中 太一郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部地域国際看護学講座
山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部

平成17年度に開発した親子関係性・環境・子育て支援のための健診項目「山縣班50」をさらに検証をすすめる、親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診項目を創出した。

本研究では、モデル構築をおこなっている新たな母子保健情報システムに取り入れるべき、乳児健診、1歳6か月健診、3歳児健診における健診項目を下記の5つのカテゴリーを創出し、それらのカテゴリー内に延べ51項目の収集すべき健康情報項目を設定した。

1. 基本項目（7項目）
2. 家族項目（10項目）
3. 健診結果（20項目）
4. 予防接種（6項目）
5. 妊娠出産（18項目）

これらを山縣班50（健診編）と名付けた。

I. 研究の目的

平成17年度に開発した親子関係性・環境・子育て支援のための健診項目「山縣班50」をさらに検証をすすめる、親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診項目を創出した。

本研究班においてモデル構築をおこなっている新たな母子保健情報システムにおいて取り入れるべき乳幼児健診項目（乳児、1歳6か月、3歳児健診）の開発に取り組んだ。

基本属性・健診結果項目を延べ51項目開発したことについて報告する。

II. 研究のプロセス

健やか親子21推進の視点を検討し、健診項目を設定した。

1. カテゴリーの設定
2. 各市町村で用いられている現行の健診項目の把握（別稿）
3. 集積すべき健診項目の選択

IV. 結果

【健診項目・・・山縣班50（健診編）】

健診項目については、以下の5つのカテゴリーをもとに、合計51項目を設定した（表1）。

1. 基本項目
2. 家族項目
3. 健診結果
4. 予防接種
5. 妊娠出産

乳児、1歳6か月、3歳児の時点のどの時期にどの情報を収集すべきかについては、表4に

示している。また、妊娠出産は、母子健康手帳から把握できる項目のため母子健康手帳から、健診票に転記すればよく、乳児健診時に把握することとした。

これらの項目は連結可能匿名化された個人データとなり、市町村から県、県から国へ集積されて、集計された結果が国や県から市町村へと還元されることを目指していることを踏まえている。

以下、山縣班50（健診編）に設定された項目を解説していく。

1. 基本項目

個人特定可能情報として以下の7項目を設定した。

- ①市町村
- ②市町村内地区コード
- ③健診実施日
- ④生年月日
- ⑤性別
- ⑥出生順位
- ⑦記入者

2. 家族項目

個別データを活用するには、属性等のクロス集計等を行うことが必要となる。保健活動をするための根拠あるいは評価をすることができると考えている。以下の10項目を設定した。

- ①兄の兄弟の有無
- ②同居家族
- ③子どもを含めた同居家族の人数
- ④婚姻状況
- ⑤母の年齢
- ⑥父の年齢
- ⑦母親の職業の有無
- ⑧日中の保育者
- ⑨高層居住（7階以上）
- ⑩居住年数

3. 健診結果

当日の健診会場で観察した事実情報や面接

時からの聴取内容、健診結果から得られた今後の方針などを項目にあげている。以下の20項目を設定した。

- ①児の体重
- ②児の身長
- ③児の胸囲
- ④児の頭囲
- ⑤要治療の虫歯
- ⑥治療済の虫歯
- ⑦生歯
- ⑧不正咬合
- ⑨栄養・発育
- ⑩精神発達障害・機能障害
- ⑪神経・運動・機能障害
- ⑫皮膚疾患
- ⑬骨・関節疾患
- ⑭循環器疾患
- ⑮呼吸器疾患
- ⑯消化器疾患
- ⑰泌尿器・腎疾患
- ⑱眼科疾患
- ⑲耳鼻咽喉疾患
- ⑳その他

4. 予防接種

乳幼児健診3時点における予防接種の接種率をリアルタイムに把握するための項目を設定した。以下の6項目を設定した。

- ①BCGを受けましたか
- ②ポリオを受けましたか
- ③3種混合を受けましたか
- ④MRを受けましたか
- ⑤麻疹を受けましたか
- ⑥風疹を受けましたか

5. 妊娠出産

多くの項目が母子健康手帳に記載されるよう設けられているため、乳児健診時の母子健康手帳から転記することを踏まえている。

また、健やか親子21推進項目として、極低

出生体重児・低出生体重児の割合を減少傾向へとすることから、喫煙の状況を把握する項目を含んだ。妊娠期・出産児の状況をリアルタイムに把握する目的の18項目を設定した。

- ①妊娠期間
- ②出血量
- ③多胎の有無
- ④出生時体重
- ⑤出生時身長
- ⑥出生時頭囲
- ⑦出生時胸囲
- ⑧妊娠中の職業の有無
- ⑨妊娠中の歯科検診の有無
- ⑩母親・妊娠前の身長
- ⑪母親・妊娠前の体重
- ⑫妊娠期間の体重増加量
- ⑬結婚年齢
- ⑭妊娠前、タバコを吸っていましたか
- ⑮妊娠に気づいた時、タバコを吸っていましたか
- ⑯その後、妊娠中、タバコを吸い続けましたか
- ⑰妊娠中の喫煙（夫）
- ⑱妊娠中の飲酒

VI. まとめ

本研究班において、モデル構築をおこなっている新たな母子保健情報システムに取り入れるべき乳幼児健診の項目を設定した。

乳児健診，1歳6か月健診，3歳児健診における健診項目を下記の5つのカテゴリーを創出し、それらのカテゴリー内に延べ51項目の収集すべき健康情報項目を設定した。

1. 基本項目（7項目）
2. 家族項目（10項目）
3. 健診結果（20項目）
4. 予防接種（6項目）
5. 妊娠出産（18項目）

今後は、検索を進める他、創出された問診項目を展開・実施して集積されたデータから

エビデンスを創出することが必要である。

VII. 文献

- 1) 松浦賢長，他：親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診・問診項目の開発に関する研究，厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）山縣班報告書，2005年

親子の社会的健康度を育むための支援に視する乳幼児健診問診項目 ～事故予防項目20の開発～

鈴木 茜	千葉県印西市中央保健センター
渡辺多恵子	茨城県常総市保健推進課
佐藤 千織	千葉県柏健康福祉センター
甲斐 友佳	千葉県印西市中央保健センター
竜岡 久枝	滋賀医科大学大学院医学系研究科
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター
山中 龍宏	緑園こどもクリニック
山縣然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部

健やか親子21の推進のための母子保健情報の利活用にむけた集積する情報内容の検討を行い、乳幼児健診（乳児，1歳6ヶ月，3歳児の3時点）における項目を創出した後，事故予防に強化した追加問診項目（事故予防オプション項目）を開発した。追加項目は20項目である。

1. お子さんを自動車に乗せるときは，いつもチャイルドシートに座らせていますか
2. 体重が10kgを超えるまでは，チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き，45度の角度で装着していますか
3. 自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか
4. 家に消火器や煙感知器を備えていますか
5. ベッドやソファ，ベビーカーから転落することがあることを知っていますか
6. 3歳の子が思い切り口を大きく開けると，口径が39mmになることを知っていますか
7. たばこ，化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床かから1m以上の場所においていますか
8. 熱いお茶やコーヒー，カップラーメンなどをテーブルの端に置いていませんか
9. 炊飯器やポット，アイロン，加湿器などを床の上においていませんか
10. 階段には転落予防の柵をしていますか
11. 浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか
12. お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか
13. 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか
14. 固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき車のシートとの間は10cm以内ですか
15. ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか
16. 歯ブラシやフォーク，箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか
17. ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか
18. ピーナッツなどの乾いた豆類，こんにゃくゼリーなどを食べさせていませんか
19. 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか
20. 自転車に乗せるとき，三輪車遊びのとき，ヘルメットをつけていますか

I. 研究の目的

健やか親子21の推進のための母子保健情報の利活用をめざし、集積する情報内容の検討を行った。本研究では、乳幼児健診（乳児，1歳6ヶ月，3歳児の3時点）における事故予防に関する問診項目（オプション項目）の構築をめざし検討したため、報告する。

II. 研究の方法

3時点における乳幼児健診の関係性・環境・子育て支援のための問診項目（山縣班50）の検討を行い5つの事故予防項目を創出した後に（別稿），さらに事故予防に重点をおいて問診項目量を活用する市区町村を想定し，事故予防に関する追加問診項目（事故予防オプション項目）について，エビデンス等の検討により創出した。

III. 結果

事故予防オプション項目は，以下の20とした（表1）。

1. お子さんを自動車に乗せるときは，いつもチャイルドシートに座らせていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

6歳以下の子どもの事故死の中で第一位は交通事故死である。生後すぐから，必ずチャイルドシートを着用することは法律で義務づけられている。

2. 体重が10kgを超えるまでは，チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き，45度の角度で装着していますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

新生児&乳児よりのチャイルドシートの装着方法の基本をマスターすること，また，車の種類にあったものを正しく装着することも重要である。

3. 自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

室内はもちろんだが，自動車の中に子どもを一人で残しておくことは熱中症にもつながり，命を落としかねないので大変危険である。

4. 家に消火器や煙感知器を備えていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

家事や地震などの災害用に，消火器や煙感知器を撃ちに備えておくと良い。また，震災時の持ち出し袋も用意しておくと良い。

5. ベッドやソファ，ベビーカーから転落することがあることを知っていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

大人がちょっと目を話した際に赤ちゃんは転落する。ベッドには柵をし，ソファには寝かさない，ベビーカーに載せるときはベルトで固定する必要がある。

6. 3歳の子が思い切り口を大きく開けると，口径が39mmになることを知っていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

直径39mmというのは意外と大きな穴である。どんなものが通るのか家の中にあるものをこのシートの穴に通して確認してみると良い。

7. たばこ，化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床かから1m以上の場所においでいますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

赤ちゃんが立ったときのことを考え、赤ちゃんが口に入れたり手にすると危険なものは常に1m以上の高さのあるところに置かなければならない。

8. 熱いお茶やコーヒー，カップラーメンなどをテーブルの端に置いていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

熱い物や鋭利なものがテーブルの端にあると、赤ちゃんがいたずらをしてやけどや怪我をする原因になる。また、テーブルクロスも使わないようにすることも大切である。

9. 炊飯器やポット，アイロン，加湿器などを床の上においていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

これらはすべて赤ちゃんのやけどの原因になる。手の届かない安全な場所においておく必要がある。

10. 階段には転落予防の柵をしていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

はいはいが始まると階段からの転落による事故が増える。階段に柵をつけるほか、玄関などの段差のある場所にも防止対策をとらなければならない。

11. 浴槽にお湯を残したままにしておく
と危険だと知っていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

赤ちゃんは水深10cm，つまり鼻と口を覆うだけの水があれば溺れる。風呂場には鍵をかけ入れないようにしておく必要がある。

12. お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

50cm以下だと転落する可能性がとても高くなる。いっしょに入浴中でも溺水事故は起きる。目を離さないようにする必要がある。

13. 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

歩行器やつかまり立ちよちよち歩きでの手押し車は転落すると大きな事故やけがにつながるので使用を避けたほうが良い。

14. 固定された幼児用チャイルドシート
の背もたれを前方に引っ張ったとき車の
シートとの間は10cm以内ですか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

チャイルドシートは正しく装着することが大切である。せっかくだけつけても緩んでいては意味がない。

15. ベランダや窓際に踏み台となるものを
置いていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

台によじのぼり、ベランダや窓から転落する事故が起きている。命にかかわる事故である。洗濯機や冷暖房の室外も台になる。

16. 歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

転んだときに口の中を切ったり、のどに刺さって大けがをすることがある。はさみなどがったものを持たせることも絶対にやめる必要がある。

17. ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

手指をはさむ事故は多い。ドアにはストッパーをつける必要がある。自動ドアを開閉するときにお子さんが近くにいないことを確認する習慣をつけることも大切である。

18. ピーナッツなどの乾いた豆類，こんにゃくゼリーなどを食べさせていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

のどに詰まらせて窒息するおそれがある食品がピーナッツなどの乾いた豆類やこんにゃくゼリーである。3歳すぎまでは与えないほうが安全である。

19. 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

幼児用プールや川、海で遊ばせるときにはライフジャケットを着用するようにすることが大切である。また大人が必ずそばにいることも必要である。

20. 自転車に乗せるとき，三輪車遊びのとき，ヘルメットをつけていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

転倒したときに大きな事故につながる可能性がある。自転車に子どもを乗せたまま自転車を止めておくことも絶対にしてはいけない。

IV. まとめ

健やか親子21の推進のための母子保健情報の利活用にむけた集積する情報内容の検討を行い、乳幼児健診（乳児，1歳6ヶ月，3歳児の3時点）における項目を創出した後、事故予防に強化した追加問診項目（事故予防オプション項目）を開発した。追加項目は20項目である。

1. お子さんを自動車に乗せるときは、いつもチャイルドシートに座らせていますか
2. 体重が10kgを超えるまでは、チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き、45度の角度で装着していますか
3. 自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか
4. 家に消火器や煙感知器を備えていますか
5. ベッドやソファ、ベビーカーから転落することがあることを知っていますか
6. 3歳の子が思い切り口を大きく開けると、口径が39mmになることを知っていますか
7. たばこ、化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床かから1m以上の場所においていますか
8. 熱いお茶やコーヒー、カップラーメンなどをテーブルの端に置いていませんか
9. 炊飯器やポット、アイロン、加湿器などを床の上においていませんか
10. 階段には転落予防の柵をしていますか
11. 浴槽にお湯を残したままにしておくと危険だと知っていますか
12. お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか

13. 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか
14. 固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき車のシートとの間は10cm以内ですか
15. ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていますか
16. 歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか

17. ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか
18. ピーナッツなどの乾いた豆類、こんにゃくゼリーなどを食べさせていませんか
19. 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか
20. 自転車に乗せるとき、三輪車遊びのとき、ヘルメットをつけていますか

V. 参考文献

- 1) 山中龍宏：事故予防の指標とその実行可能性についての検討，厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）山縣班報告書，2005年.
- 2) 松浦賢長，他：親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診・問診項目の開発に関する研究，厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）山縣班報告書，2005年.

表1

事故予防オプション項目20（山中先生より）						
NO.	問診項目	選択肢	乳	1.6	3	目的・意義・概要
1	お子さんを自動車に乗せるときは、いつもチャイルドシートに座らせていますか	はい・ときどき・いいえ	●			6歳以下の子どもの事故死の中で第一位は交通事故死である。生後すぐから、必ずチャイルドシートを着用することは法律で義務づけられている。
2	体重が10kgを超えるまでは、チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き、45度の角度で装着していますか	はい・いいえ	●			新生児&乳児よりのチャイルドシートの装着方法の基本をマスターすること、また、車の種類にあったものを正しく装着することも重要である。
3	自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか	はい・いいえ	●			室内はもちろんだが、自動車の中に子どもを一人で残しておくことは熱中症にもつながり、命を落としかねないで大変危険である。
4	家に消火器や煙感知器を備えていますか	はい・いいえ	●			家事や地震などの災害用に、消火器や煙感知器を撃ちに備えておくことと良い。また、震災時の持ち出し袋も用意しておくことと良い。
5	ベッドやソファ、ベビーカーから転落することがあることを知っていますか	はい・いいえ	●			大人がちよっと目を話した際に赤ちゃんは転落する。ベッドには柵をし、ソファには寝かさない、ベビーカーに載せるときはベルトで固定する必要がある。
6	3歳の子が思い切り口を大きく開けると、口径が39mmになることをしていますか	はい・いいえ	●			直径39mmというのは意外と大きな穴である。どんなものを通るのか家の中にあるものをこのシートの穴に通して確認してみると良い。
7	たばこ、化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床から1m以上の場所においていますか	はい・いいえ	●	●		赤ちゃんが立ったときのことを考え、赤ちゃんが口に入れたり手にすると危険なものは常に1m以上の高さのあるところにおかなければならない。
8	熱いお茶やコーヒー、カップラーメンなどをテーブルの端においていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		熱い物や鋭利なものがテーブルの端にあると、赤ちゃんがいたずらをしてやけどや怪我をする原因になる。また、テーブルクロスも使わないようにすることも大切である。
9	炊飯器やポット、アイロン、加湿器などを床の上においていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		これらはすべて赤ちゃんのやけどの原因になる。手の届かない安全な場所においておく必要がある。
10	階段には転落予防の柵をしていますか	はい・ときどき・いいえ	●	●		はいはいが始まると階段からの転落による事故が増える。階段に柵をつけるほか、玄関などの段差のある場所にも防止対策をとらなければならない。
11	浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか	はい・いいえ	●	●		赤ちゃんは水深10cm、つまり鼻と口を覆うだけの水があれば溺れる。風呂場には鍵をかけ入れないようにしておく必要がある。
12	お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか	はい・いいえ	●	●		50cm以下だと転落する可能性がとても高くなる。いっしょに入浴中でも溺水事故はおきる。目を離さないようにする必要がある。
13	歩行者や手押し車を使わないようにしていますか	はい・いいえ	●	●		歩行者やつかまり立ちよちよち歩きでの手押し車は転落すると大きな事故やけがにつながるので使用を避けたいほうが良い。
14	固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき車のシートとの間は10cm以内ですか	はい・いいえ	●	●		チャイルドシートは正しく装着することが大切である。せっかくつけても緩んでいては意味がない。
15	ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		台によじのぼり、ベランダや窓から転落する事故が起きている。命にかかわる事故である。洗濯機や冷暖房の室外も台になる。
16	歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		転んだときに口の中を切ったり、のどに刺さって大けがをすることがある。はさみなどがったものを持たせることも絶対にやめる必要がある。
17	ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか	はい・ときどき・いいえ	●	●		手指をはさむ事故は多い。ドアにはストッパーをつける必要がある。自動ドアを開閉するときにお子さんが近くにいないことを確認する習慣をつけることも大切である。
18	ピーナッツなどの乾いた豆類、こんにやくゼリーなどを食べさせていませんか	はい・ときどき・いいえ	●	●		のどに詰まらせて窒息するおそれがある食品がピーナッツなどの乾いた豆類やこんにやくゼリーである。3歳すぎまでは与えないほうが安全である。
19	水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか	はい・ときどき・いいえ	●	●		幼児用プールや川、海で遊ばせるときにはライフジャケットを着用するようにすることが大切である。また大人が必ずそばにいることも必要である。
20	自転車に乗せるとき、三輪車遊びのとき、ヘルメットをつけていますか	はい・ときどき・いいえ	●	●		転倒したときに大きな事故につながる可能性がある。自転車に子どもを乗せたまま自転車を止めておくことも絶対にしてはいけない。



<1> お子さんを自動車に乗せるときは、いつもチャイルドシートに座らせていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<2> 体重が10kgを超えるまでは、チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き、45度の角度で装着していますか

1. はい 2. いいえ

<3> 自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか

1. はい 2. いいえ

<4> 家に消火器や煙感知器を備えていますか

1. はい 2. いいえ

<5> ベッドやソファ、ベビーカーから転落することがあることを知っていますか

1. はい 2. いいえ

<6> 3歳の子が思い切り口を大きく開けると、口径が39mmになることをしていますか

1. はい 2. いいえ



<1> たばこ、化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床から1m以上の場所においていますか

1. はい 2. いいえ

<2> 熱いお茶やコーヒー、カップラーメンなどをテーブルの端においていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<3> 炊飯器やポット、アイロン、加湿器などを床の上においていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<4> 階段には転落予防の柵をしていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<5> 浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか

1. はい 2. いいえ

<6> お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか

1. はい 2. いいえ

<7> 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか

1. はい 2. いいえ

<8> 固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき、車のシートとの間は、

10cm以内ですか

1. はい 2. いいえ

<9> ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<10> 歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<11> ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<12> ピーナッツなどの乾いた豆類、こんにやくゼリーなどを食べさせていませんか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<13> 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ

<14> 自転車に乗せるとき、三輪車遊びのとき、ヘルメットをつけていますか

1. はい 2. ときどき 3. いいえ



- <1> たばこ，化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床から1m以上の場所においでいますか
 1. はい 2. いいえ
- <2> 熱いお茶やコーヒー，カップラーメンなどをテーブルの端においでいませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <3> 炊飯器やポット，アイロン，加湿器などを床の上においでいませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <4> 階段には転落予防の柵をしていますか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <5> 浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか
 1. はい 2. いいえ
- <6> お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか
 1. はい 2. いいえ
- <7> 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか
 1. はい 2. いいえ
- <8> 固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき，車のシートとの間は，
 10cm以内ですか
 1. はい 2. いいえ
- <9> ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <10> 歯ブラシやフォーク，箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <11> ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <12> ピーナッツなどの乾いた豆類，こんにやくゼリーなどを食べさせていませんか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <13> 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ
- <14> 自転車に乗せるとき，三輪車遊びのとき，ヘルメットをつけていますか
 1. はい 2. ときどき 3. いいえ

親子の社会的健康度を育むための支援に資する 幼児期健康支援に関する問診項目 —問診項目の試作と学術的事項・エビデンスに関わる事項の検討—

下園 美保子	(奈良県下市町健康増進課)
山口 智佳子	(奈良教育大学附属幼稚園)
小松原 かおり	(京都教育大学附属幼稚園)
安田 梓	(大阪市南港光小学校)
内田 薫	(大阪市港区保健福祉センター)
山野 恵美子	(奈良県医師会看護専門学校)
松浦 賢長	(福岡県立大学看護学部)
山縣 然太朗	(山梨大学大学院医学工学総合研究部)

健やか親子 21 の推進のための母子保健情報の利活用にむけた集積する情報内容の検討を行い、先行研究¹⁾²⁾である乳幼児健診問診項目を参考に、幼児期における親子の社会的健康度の支援に資するカテゴリー10項目及び幼児期の関係性・環境・子育て支援のための問診項目（以下幼児期健康支援問診項目）62項目を試作した。そのうち幼児期だけに活用する項目は、23項目あった。

また、幼児期健康支援問診項目で幼児期だけに活用する項目23項目中6項目について、学会発表レベルのエビデンスを集積した。

今後は以下の4点が必要であると考えます。1、社会的健康度を育むための支援に関する幼児期における課題の整理。2、1を基にした試作問診項目の検討。3、各項目のエビデンスレベルの向上。4、幼稚園・保育園（所）等を対象にしたモデル校（園・所）での活用からデータを集積し、エビデンスを作り出す。

A. 研究目的

健やか親子 21 の推進のための母子保健情報の利活用をめざし、集積する情報内容の検討を行った。本研究では、先行研究¹⁾²⁾である乳幼児健診問診項目を参考に、幼児期（4歳児・5歳児・6歳児の3時点）における関係性・環境・子育て支援のための問診項目の構築をめざした試作、及び、利活用にむけた第一段階として、各項目について文献検索を行い、学会発表レベルのエビデンスを集積したので、報告する。

B. 研究方法

I. 問診項目試作

3時点における幼児期の関係性・環境・子育て支援のための問診項目を以下のポイントを考慮し検討、試作した。

- 1、乳幼児期からの縦断的な情報の利活用を考慮し、カテゴリー等については乳幼児健診問診項目を参考にした。
- 2、幼稚園等の現場での気付きのなかで把握すべき項目があるかを検討した。
- 3、健やか親子 21 の視点・指標を導入した。

- 4、カテゴリーごとに創出した。
- 5、各項目のエビデンスの集積を行った。

II、エビデンス集積

エビデンス集積方法は、主にインターネット上のホームページ及び文献検索エンジンによる検索を行った。

C. 結果

I. 問診項目試作（表1）

問診項目は、乳幼児健診問診項目を参考に、以下のカテゴリーにわけた。

- 1、親の（地域）社会との関わり
- 2、親の身体・精神的健康度
- 3、遊び
- 4、ふれあい
- 5、食
- 6、生活習慣
- 7、地域・周囲からの関わり（親子へ）
- 8、喫煙
- 9、医療
- 10、事故

また、カテゴリーのレベル設定を、乳幼児健診問診項目と同様に、以下のように設定した。

- A,家庭レベル
 - B,地域レベル
 - C,社会レベル・教養レベル
- とした。

3 時点のどの時期にどの情報を収集すべきか、どのレベルであるかについては、同じく表1に示している。

問診項目試作作成に当たって、基本的には乳幼児健診問診項目を活用しているが、幼児期としてふさわしい表現に変更又は新たに問診項

目を23項目追加した。ここでは、新たに追加した23項目について述べる。

カテゴリー1、親の（地域）社会との関わり

項目 2、地域の保健センター等の育児支援施設に行きますか

育児に関して気軽に相談できる場や正しい情報を入手できる場・窓口が、生活の中で現実的に存在しているかどうかをみる項目である。

カテゴリー2、親の身体的・精神的健康度

項目 11、どんな子に育てたいという育児方針はありますか

育児方針として、子どもへの対応の統一感があるかどうかをみる項目である。その時々での対応が違っていると、子どもは大人を信用しなくなるのではないかと考える。

カテゴリー3、遊び

項目 19、お子さんは、順番を守って遊んでいますか

社会における基本的ルールである順番に関する理解と発達をみる項目である。最終的に5歳でできているかをチェックする。

項目 20、お子さんは、子ども同士が群れて、みんな一緒に同じ遊びをして遊んでいますか

社会的健康度を高めるために必要な群れ遊びをしているかどうかをみる項目である。群れ遊びのなかで、問題を正面から受け止め、解決するという力を養う。これは、思春期問題を自力で解決するための基礎力となると考える。

項目 21、お子さんは、遊具のないところで遊んでいますか

与えられた場ではなく、自分で考える遊びをしているかどうかをきく項目である。子どもは、

遊びの中で、工夫し発展させる力を養う。そのためには与えられた場ではなく、工夫創造を必要とするなにもない場での遊びが必要であると考える。

カテゴリー4、ふれあい

項目 22、“肩車”や“飛行機”など、体と体がふれあうような遊びをしていますか

スキンシップが十分されているかどうかを見る項目である。子どもの精神的安定を図るためにも、こどもにとって家庭が安全で安心できる場であるという、今後の発達に必要な基礎を築くための関わりでもある。

項目 23、保護者の方は、子どもを抱きしめることがありますか

スキンシップが十分されているかどうかを見る項目である。子どもの精神的安定を図るためにも、こどもにとって家庭が安全で安心できる場であるという、今後の発達に必要な基礎を築くための関わりでもある。

項目 24、お子さんと目と目をあわせて会話をすることがありますか

保護者が子どもにきちんと関わっているかどうかをみる項目である。

項目 25、お子さんにとって、怖いと思う存在の方が身近にいますか

服部³⁾によると、父親など、子どもにとって身近にいる「怖い」存在の人への同一化を図ることで、深い人間性を発達させ、善悪や正邪の判断、克己心や勇気、秩序や規則等を内在化させていくプロセスを踏む。これらの視点から、身近に「怖い」存在の人がいるかどうかを確認する項目である。

カテゴリー5、食

項目 32、お子さんは、家庭と集団（幼稚園や保育所等）とで食べる量に違いがありますか

この項目は、集団への適応状況を食から見た項目である。家庭と集団のどちらでよく食べるのかをさらに確認することで、集団への適応状況や家庭内での食事状況を確認することができると思われる。

カテゴリー6、生活習慣

項目 34、おむつをとるとき、「気持ち悪かったね」などの声かけをしていましたか

大人が、子どもに対して適切な関わりがなされているかをみる項目である。子どもを中心とした子育ての中で、どのように排泄の習慣をつけさせ、トイレで排泄できるようにするか、そのプロセスが、子どもの健全な発達を促す側面からも大切であると思われる。

項目 37、お子さんは、指すいや爪かみをしていますか

保護者の子どもとの関わりをみるための項目である。指吸いや爪かみはおしゃぶり同様、子どもの精神状態の不安定さを示すことが多い。幼児になるとおしゃぶりから指吸いや爪かみに移行する児もある。

項目 41、お子さんは、排便後、局所を自分でふけますか

生活習慣の確立の状況をみる項目である。排泄の自立についての状況把握である。

項目 42、寒暖があるとすぐに冷房と暖房をつけますか

子どもの気温に対する適応能力を伸ばすかわりがあるかどうかをみる項目である。外の気温に適応する体力がないと、外遊びがしにく

いのではないかと考える。

項目 43、お子さんの通園や習い事の準備を、お子さんにさせていますか

子どもの自立心を伸ばすかわりをしていくかどうかをみる項目である。

項目 44、お子さんは、疲れや腹痛・下痢等を訴えますか

生活習慣の確立の状況把握する項目である。子どもが疾患等を持っていない場合、子どもの不定愁訴や無気力は生活習慣の乱れを背景にあることが考えられるため。

項目 45、お子さんは、お友達に「ごめんね」がいえですか

自分が悪いことをしたと認識し謝罪が言葉でできるかどうかをみる項目である。服部³⁾の幼児後期の発達危機である「自発性 対罪悪感」の側面から、罪悪感をきちんと感じ、認めることが、発達上重要であると考ええる。

カテゴリー 7、地域・周囲からの関わり（親子へ）

項目 47、あなたは、日常の育児で受ける支援に満足していますか

相談による支援や直接支援に対する満足度をみる項目である。満足度が低いと、保護者の精神安定という意味では、あまり効果がないと考える。

項目 50、お子さんは、公共施設（駅や図書館等）を利用していますか

公共施設での社会性を学ぶ機会があるかどうかをみる項目である。

項目 51、ご自宅に、友達や親族の方が訪問しますか

家庭が密室になっていないかどうかをみる項目である。

カテゴリー 10、事故

項目 60、お子さんは、道路に飛び出すことがありますか

交通事故につながる行動に関する項目である。

項目 61、マンションや池等危険なところにある柵を乗り越えようとしていますか

転落事故につながる行動に関する項目である。

項目 62、自転車にお子さんを乗せたまま、その場を離れることがありますか

自転車に子どもを乗せまま放置して、自転車ごと転倒するケースがあるため、このような事故につながる行動に関する項目である。危険性を把握する基礎データとなる。

II. エビデンス集積

本研究で乳幼児健診問診項目及び新たに加えた 23 問診項目について、幼児教育、保育、小児保健、その他関連学会発表レベルでのエビデンスを集積した結果は以下に記述する。

カテゴリー 1、親の（地域）社会との関わり

項目 2、地域の保健センター等の育児支援施設に行きますか

育児グループを行政主催型育児グループ（以下 行政型）と自主型育児グループ（以下 自主型）とに分け、母親の育児不安内容と育児グループの効果を検討するため、乳幼児を持つ母親 8 名に面接調査を行った。結果、育児グループ参加による効果について、行政型と自主型に共通した内容は「友達が増える場」であった。

さらに、行政型のみであげられた効果は「相談ができる場」、「遊び場・機会の確保」・「遊びを教えてもらえる場」・「気をまぎらわす場」などであった。自主型のみであげられた効果は、「交流の場」・「作り物ができる場」・「情報が得られる場」・「視野が広がる場」などであった⁴⁾。

カテゴリー 2、親の身体的・精神的健康度

項目 11、どんな子に育てたいという育児方針はありますか

幼児期の子育て支援を考える上での、保護者に対する基礎調査によると、「子どもが小学生になるまでに出来て欲しいこと」への回答では、特に男児においては、「学習」が高く、女児では「自立」の回答率が高かった。これらから、保護者は男児に対しては女児よりも学習面へ期待（不安）を大きく持つようである。一方女児には身支度等への生活面での期待が大きいようである。また、「現在習っているお稽古」への回答では、学齢、性差を問わず、「東京」「関東」よりも「岩手」が大幅に低くなった。特に「運動」に関するお稽古に顕著な差が認められた。これは、「空き地」などの環境面の影響も考えられるが、都会では、地域に比べ子どもの身体活動をお稽古事に任せてしまう風潮が強くなるように推察された⁵⁾。

カテゴリー 6、生活習慣

項目 34、おむつをとるとき、「気持ち悪かったね」などの声かけをしていましたか

女性の社会進出、少子化社会の排泄習慣、おむつ交換などの保育・養育環境について、子どもを中心に考察を試みた。結果、働く女性が増加し、育児に手間を省きたいという「子育ての省エネ化」は、子どもの不快や快感を親が共有しつつ子育てをすることも省エネ化してしまう。紙おむつ時代のおむつは、「時間でとりか

える」「2～3回たまったらとりかえる」ものとなっている。布おむつ時代は、子どもに「気持ち悪かったね」などの語りかけをしながらおむつを換えるのが常だった。布おむつと紙おむつを対局することではなく、子どもを中心とした子育ての中で、どのように排泄の習慣をつけさせ、トイレで排泄できるようにするか、そのプロセスが大切なのである。おとなの適切な対応によって、排泄機能等の心身の発達は促される⁶⁾。

項目 37、お子さんは、指すいや爪かみをしていますか

指しゃぶりは3才頃までは生理的な行動とされるが、3才以降に継続している場合には前歯がかみ合わない「開咬」が治療しにくくなる。シリコン製「おしゃぶり」については、歯ならび、かみ合わせへの影響を含めた多角的視点から推奨できないとする報告（米津卓朗：ゴム乳首は推奨できるか。小児歯科臨床 6(9)26-33, 2001)がある⁷⁾。

また、保健所および保健センターの歯科健診に来所した幼児の保護者 323 名を対象にアンケート調査を実施、おしゃぶりと生活環境との関連について分析した。低出生体重児では「過去におしゃぶりをしていた」と答えたものが多く、保健指導の場では、出生の状況についても考慮していく必要がある。就寝時刻が遅く睡眠時間が短い者で、おしゃぶりを継続して使用している者が多く見られ、睡眠サイクルを含めた生活週間がおしゃぶりの使用に影響を与えていることが示唆された⁸⁾。

項目 43、お子さんの通園や習い事の準備を、お子さんにさせていますか

S市内の幼稚園の全児 2,924 名を対象に行なった調査結果では、朝食を大人の誰かと食べて